行　事　報　告

ザ・シンポジウムみなと in 室蘭

30回目となる「ザ・シンポジウムみなと」を令和4年9月2日(金)に室蘭市民会館において開催しました。今回のシンポジウムは開港150年を迎えた室蘭港において、『巷(ちまた)からはじまるカーボンニュートラル』をテーマに、カーボンニュートラルポートの実現に向けた市民・企業・教育・行政が連携方策を議論し、港湾の果たす役割や将来像について有識者が意見を出し合いました。

新型コロナウイルスへの感染防止のため前回に引き続き、会場とWEBによるライブ配信による開催方式とし、会場とWEBを合わせて470名の参加がありました。

はじめに、主催者を代表してザ・シンポジウムみなと実行委員会の眞田　仁委員長、開催地を代表して青山　剛室蘭市長から開会の挨拶がありました。

主催者挨拶　実行委員長
眞田　仁氏

開催地代表挨拶
室蘭市長　青山　剛氏

次に、小林　潔司京都大学経営管理大学院特任教授から『室蘭港のめざすべき未来へのアプローチ』と題した基調講演がありました。講演では、地域での脱炭素化政策を進めるためには、実行可能な核となる技術やシステムの選択、資金調達、プラットフォーラムの形成と人材育成が必要であり、一人では大きな事業はできないという、含蓄に富んだお話がありました。

休憩をはさんで、『巷(ちまた)からはじまるカーボンニュートラル』をテーマに、パネルディスカッションを行いました。パネリストには、青山　剛室蘭市長、石井　裕子合同会社SUM-i-CA代表社員、田村　亨北海商科大学教授、小髙　咲北海道立総合研究機構理事長、小林　潔司京都大学経営管理大学院特任教授が登壇し、フリーアナウンサーの野宮　範子氏をコーディネーターとして熱心な討論が交わされました。

基調講演　京都大学経営管理大学院
特任教授　小林　潔司氏

また、会場入口前のホールにおいて、北海道開発局室蘭開発建設部、NPO法人北海道みなとの文化振興機構、室蘭工業大学「室蘭＋脱炭素タスクフォース」及びMOPA(室蘭洋上風力関連事業推進協議会)による「みなとパネル展」も開催され、多くの方にご覧いただきました。

みなとパネル展

シンポジウムの挨拶、基調講演及びパネルディスカッションの内容は、来年度発行する「海と港No.41」に掲載いたします。

パネルディスカッション

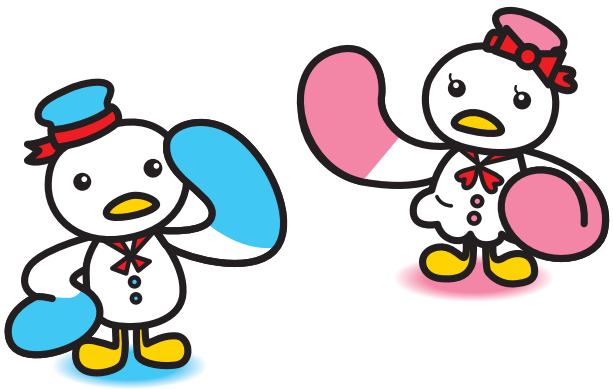
パネリスト　青山　剛氏
室蘭市長

パネリスト　石井　裕子氏
SUM-i-CA 代表社員

パネリスト　田村　亨氏
北海商科大学教授

パネリスト　小髙　咲氏
北海道立総合研究機構理事長

パネリスト　小林　潔司氏
京都大学経営管理大学院特任教授

コーディネーター　野宮　範子氏
フリーアナウンサー

会場の様子